

「振り返りシート」を取り入れた
ワークシートと「主体的に学習に取り
組む態度」の評価方法に関する研究

2 改善後の研究（新しい取組）

振り返りシートの改善点（ア）

< 振り返り >
このプリントをやって大事だと感じたこと、次につなげるべきこと、今やっておくべきことなど記入すること

<改善前の振り返り>
単元終了時の生徒のコメントのみ

「授業プリント」振り返りシート 右下

4

自己評価をしよう(A:よくできた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった)

- ①「仮説検定」のやり方がわかったか。 (A ・ B ・ C ・ D)
- ②「有意水準」が変わると何がわかるか理解できたか。(A ・ B ・ C ・ D)
- ③主体的に取り組むことができたか。(A ・ B ・ C ・ D)

<まとめ>「仮説検定」について考えたことをまとめてみよう。

また、「仮説検定」の「有用性」や「注意する点」も考えて書いてみよう。

	自己評価
	⑧

<改善後の振り返り>
自己評価+まとめ

これで十分？

2 改善後の研究（新しい取組）

振り返りシートの改善点（イ）

振り返りシート 2年 数学B 統計的な推測 授業プリント 第〇回「1

1
＜学習前＞（次回の授業前までに書いておこう）

「仮説検定」とは何か知っていることを記述しよう。（数学Ⅰの教科書で調べよう）	④
「仮説検定」を行うことの「良いところ」は何か記述しよう。	⑤

「授業プリント」振り返りシート 左上

2
＜学習後＞（今日の授業でわかったこと・考えたことをまとめよう）

数学Ⅰで学習した「仮説検定」との違いを記述しよう。	⑥
「有意水準」を変えるとどういったことが起こるか記述しよう。	⑦

「授業プリント」振り返りシート 左下

改善後は**授業前**や**授業後**に考えたことを記述するようにした。

2 改善後の研究（新しい取組）

振り返りシートの改善点（ウ）

○実際に仮説検定をやってみて・・・

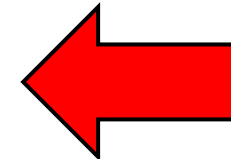
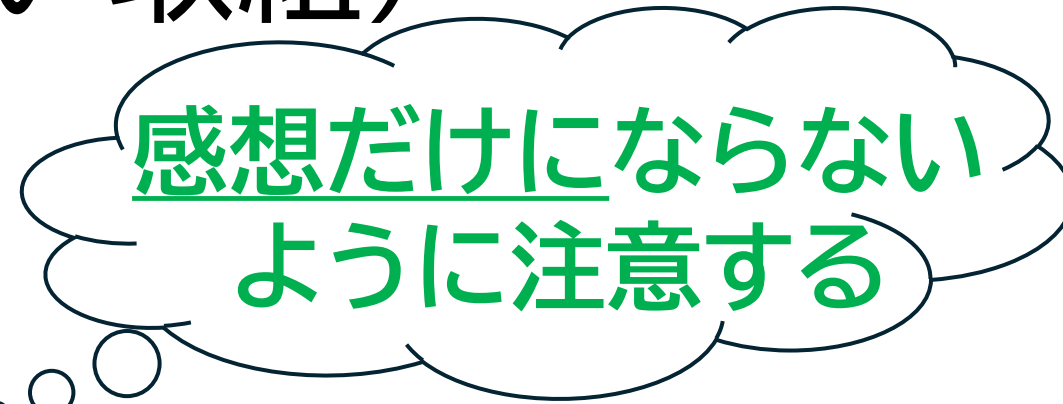
「授業プリント」No.2 右

最初に予測したこととの違いを書いてみよう。	自己評価
	②

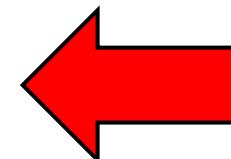
自己評価(A:よくできた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった)

○有意水準を 1%にすると判断が変わるのか予測しよう。どちらかに○をして、理由を書いてみよう。

判断が変わる (コインの表と裏の出方に偏りが無い) 【理由】	● 判断は変わらない (コインの表と裏の出方に偏りがある)	自己評価
	③	



最初に考えたこととの
違いを認識する。

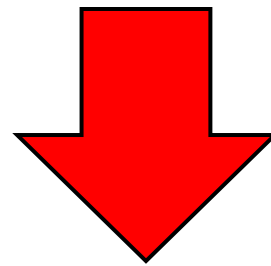


条件を変えるとどのように
変化するか予想する。

2 改善後の研究（新しい取組）

振り返りシートの改善点<まとめ>

まとめのみではなく、生徒の思考の変化や他者との協力の様子なども可視化できるようになった。



しかし・・・

生徒の活動に変化が出てきたが・・・

生徒の学習をどのように評価するのかが課題である。

2 改善後の研究（新しい取組）

生徒がワークシートで学習するだけでなく・・・

（１）生徒の一つ一つの取組に対して細かく評価する。

（２）何が評価ポイントなのか明確にする。

「主体的に学習に取り組む態度・汎用ルーブリック（例）」 「**教員用評価シート**」下

評価観点	観点の説明	A (3)	B (2)	C (1)
ア 目標設定	自ら学習目標を立てているか	明確な目標を自分で設定し、達成に向けて行動している	目標を立てているが、達成への意識がやや弱い	目標を立てていない、または他人任せ
イ 計画性	学習計画を立てて実行しているか	自分で計画を立て、継続的に実行している	計画はあるが、実行にムラがある	計画を立てていない、または実行していない
ウ 課題への取組	課題に積極的に取り組んでいるか	自ら進んで課題に取組、工夫している	課題に取り組んでいるが、工夫は少ない	課題に消極的で、取組が不十分
エ 振り返り	学習後の振り返りをしているか	自分の理解や課題を明確に振り返っている	振り返りをしているが、十分でない部分がある	振り返りが不十分である
オ 質問・発言	授業中の質問や発言の積極性	積極的に質問・発言し、学びを深めている	時々質問・発言している	発言や質問がほとんどない
カ 協働姿勢	他者との協力的な学びの姿勢	他者と協力し、互いに学び合っている	協力しているが、主体性がやや弱い	協力的な姿勢が見られない
キ 情報活用	資料や情報を活用しているか	多様な情報源を活用し、学習を深めている	一部の情報を活用している	情報を活用していない
ク 表現力	自分の考えを表現できているか	自分の考えを論理的に表現できる	考えを表現しているが、やや不明確	表現がほとんどない、または言語化できていない
ケ 失敗からの学び	間違いや失敗を学びに変えているか	失敗を前向きに捉え、改善に生かしている	失敗を受け入れているが、改善が不十分	失敗を避けようとし、学びに生かしていない
コ 意欲・継続性	学習への意欲と継続的な取組	高い意欲を持ち、継続的に学習している	意欲はあるが、継続性に課題がある	学習への意欲が低く、継続していない

2 改善後の研究 (新しい取組)

通常のルーブリックと「汎用ルーブリック」の違いを考えてみると・・・

例えば・・・

「授業プリント」No. 2 右真ん中

○有意水準を 1% にすると判断が変わるのか予測しよう。どちらかに○をして、理由を書いてみよう。

判断が変わる (コインの表と裏の出方に偏りが無い) 【理由】	●	判断は変わらない (コインの表と裏の出方に偏りがある)	自己評価
			③

<通常ルーブリックの例>

内容に対して細かく設定している

③の評価のルーブリック

評価	A(3)	B(2)	C(1)
評価のポイント			
有意水準の値5%から1%が変わったとき、結論がどのように変化するかを現実の問題の解決に役立てようとする。	有意水準の値が変わったとき、結論がどのように変化するか考え、理由を数学的に説明ができる	有意水準の値が変わったとき、結論がどのように変化するか考え、感覚的に説明ができる	有意水準の値が変わったとき、結論がどのように変化するか考えることができない

<汎用ルーブリックの例>

生徒の活動に対して設定している



評価観点	観点の説明	A (3)	B (2)	C (1)
ク 表現力	自分の考えを表現できているか	自分の考えを論理的に表現できる	考えを表現しているが、やや不明確	表現がほとんどない、または言語化できていない

2 改善後の研究（新しい取組）

例えば、今回作成したワークシートで「単元評価」をすると・・・「教員用評価シート」上

評価ポイント	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	合計	
評価観点	力	工	ウ	キ	エ	キ	エ	ク	ク		単元評価
評価(点数)	3	2	2	1	2	2	3	2	3	20	B

評価基準	
A	: (22) ~
B	: (12) ~ (21)
C	: ~ (11)

(手順1) 評価観点を「汎用ルーブリック」で決める。

(手順2) 例えば①を評価するとき・・・

「A・B・C」の幅は各学校・学年で決める

自分の考えをまわりの人と共有しよう。話が終わったらまとめを書いてみよう。

< まとめ > _____

自己評価
① <input type="checkbox"/>

「授業プリント」No. 1 左下

教員が評価をする(点数を決める)

自己評価(A:よくできた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった)

評価観点	観点の説明	A (3)	B (2)	C (1)
力 協働姿勢	他者との協力的な学びの姿勢	他者と協力し、互いに学び合っている	協力しているが、主体性がやや弱い	協力的な姿勢が見られない


3 まとめ

改善前までの振り返りシートでは・・・

「振り返り」 = 「まとめの文章」  まとめの文章を書く力が評価されている。

「主体的に学習に取り組む態度」を評価できている？

改善後の振り返りシートでは・・・

「振り返り」 = 「一つ一つの活動」  授業前・中・後の生徒の活動が評価されている。

汎用ルーブリックを使うことで「主体的に学習に取り組む態度」をさまざまな視点から評価することができた。